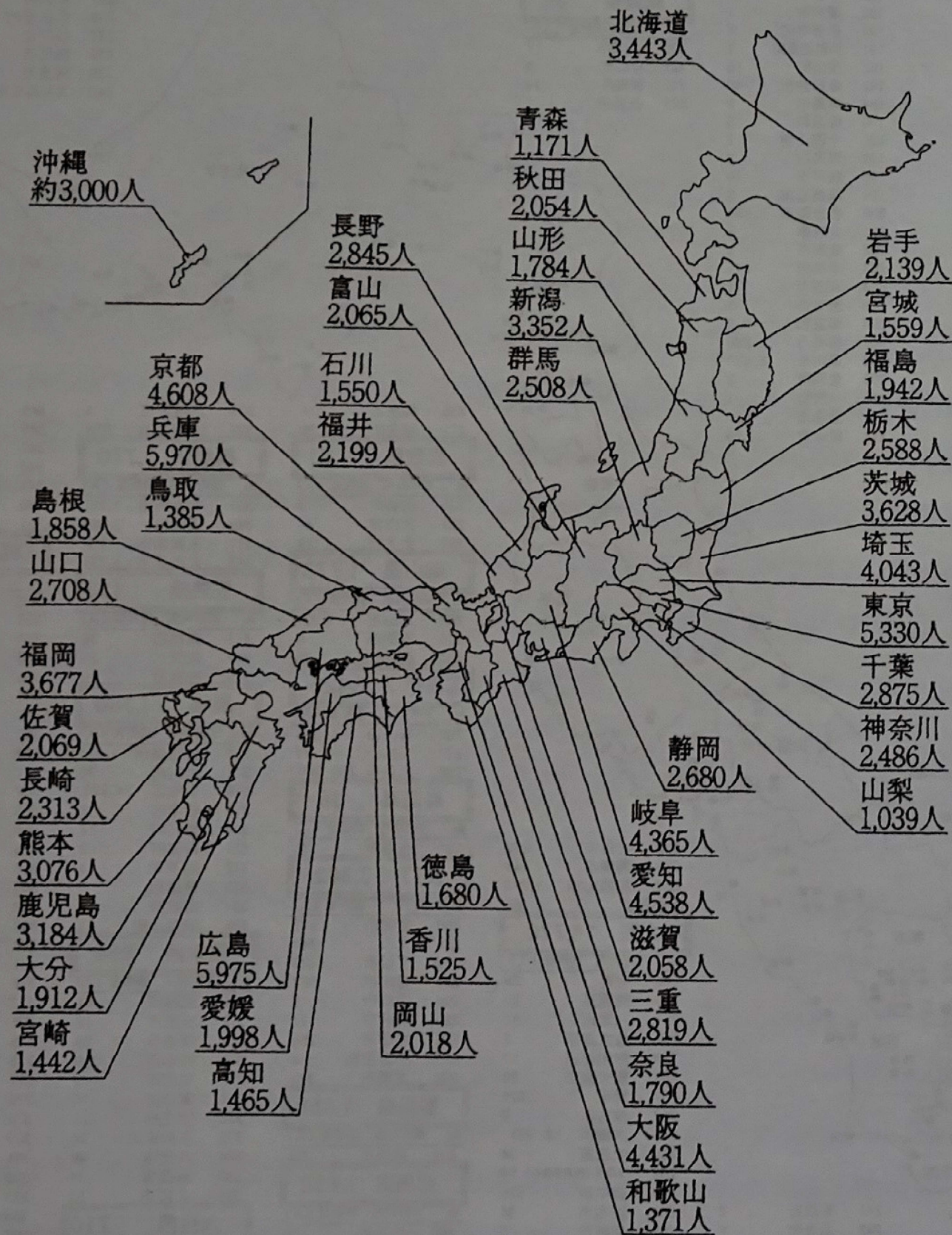


都道府県別戦争孤児数



【厚生省児童局企画課調査報告】(1948年(昭和23)2月1日現在)より作成
本庄豊『戦争孤児を知っていますか』(2015年、日本機関紙出版センター)

戦争孤児数の多い都府県 (10位まで) 沖縄県をのぞく全国合計孤児数
12万3512人 (1万2202人)

1 広島県	5975人 (456人)	6 大阪府	4431人 (1413人)
2 兵庫県	5970人 (662人)	7 岐阜県	4365人 (111人)
3 東京都	5330人 (1703人)	8 埼玉県	4043人 (180人)
4 京都府	4608人 (584人)	9 福岡県	3677人 (584人)
5 愛知県	4538人 (533人)	10 茨城県	3628人 (163人)
		※ 沖縄県	約1000人(約200人)

厚生省「全国孤児一斉調査」(1948/2/1実施)より作成

- (1)この厚生省(当時)調査は、アメリカ統治下の沖縄では実施できなかった
 - (2) ()内は孤児施設に入れられた子どもたちの数。ただし、逃亡や死亡などもあり実数は正確ではない
 - (3)調査対象は、数え年1~20歳の孤児。このうち8~14歳の孤児は57731人(全体の46.7%)だった。数え年とは生まれた時を1歳とし、正月に1つずつ加えていく日本独特の年齢の数え方
 - (4)両親が戦争で亡くなくても、身寄りがあれば孤児としては数えられない。実際の孤児は統計の何倍もいたと考えられる
- ※沖縄県については、琉球政府行政主席官房情報課「児童福祉の概要」(「情報」第14号、1954年4月7日発行)による。「情報」によれば、養子や親戚による引取りも含めると実際の孤児数は約3000人であったとされる

戦争孤児の分類

戦災孤児	空襲などの戦災や戦後の貧困などで身寄りをなくした孤児
原爆孤児	戦争末期の原子爆弾投下で身寄りをなくした孤児
引き揚げ孤児	戦後、旧満州や南洋諸島などから単身で戻ってきた孤児
残留孤児	旧満州などに取り残され、現地の人に育てられた孤児
沖縄の戦場孤児	沖縄戦で身寄りをなくした孤児
国際(混血)孤児	日本を占領した米軍兵士と日本人女性との間に生まれた孤児